

小学校

教科【社会】

単元 5年【米づくりのさかんな地域：祢津さんの米づくり】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

動画を効果的に用いて、児童が紙面よりも多彩な情報を得ることにより、学習課題への意欲の向上、学習理解の深化を図る。

ICT活用のポイント

一台端末は、導入で興味・関心の喚起のため、終末では、学習理解の深化を狙って使用する。その他に、課題に対する理解を促進する目的から、教師用デジタル教科書に収録している動画を大型提示装置を使って表示する。

使用する
ICT機器大型提示装置、教師用デジタル教科書
Chromebook（1人1台端末）使用するアプリ・
クラウドサービス等

GoogleClassroom, Jamboard

クラウド
の活用☒教材の配布・回収等 ☒資料等の共有
☒生徒の学習状況の把握 ☐その他（ ）本時の
ねらい

米づくりが一年を通して計画的に、工夫して行われていることを理解する。

主な学習活動
(学習場面)

ICTの活用・留意点等

評価

導入

- 米づくりの一年の並べ替えを行う。
個別
- 本時の課題を確認する。

GoogleClassroomを用いて、一台端末にJamboardを配布する。

指針2

クラウド



正解・不正解にこだわらずに意欲につながられるように言葉がけする。

『米づくりをどのようにすすめているのか
まとめよう。』

展開

- 農家の人々は米づくりをどのように進めているのか、教科書や教師が提示する動画を通じて知る。
一斉
- 一年を通しての米づくりについて感想を交流する。
協働

指針3

ICT機器



大型提示装置を使って指導者用デジタル教科書付属コンテンツ（動画）を表示。

終末

- 本時のまとめ
- 本時の振り返り。
個別

『農家の人々は、1年を通して、くふうや努力を重ねて米づくりをしている。』

指針2

クラウド



Jamboardを使って米づくりの一年の並べ替えを行う。



ここで評価

【知】米づくりが一年を通して計画的に行われていることを理解している。

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度